

LA SEÑAS TAKAYAMA

ラ・セーニャス・タカヤマ

このプロジェクトに参加し、
こだま〜れの歴史の1ページを刻もう!

新感覚パーカッション集団の中で演奏してみませんか!

LA SEÑAS (ラ・セーニャス)とは

150種類以上のハンドサインを駆使するアルゼンチン発祥の演奏法「ボンバスタイル」を取り入れて音楽を創っていく、「即興型打楽器集団」です。本場アルゼンチンでその演奏法を会得した佐藤「仙人」文弘が率いるこのプロジェクト、現在は、打楽器にかかわらず、様々な楽器との融合へと進化しています。LA SEÑAS (ラ・セーニャス)はハンドサインを覚えれば、どんな音楽家でもアンサンブルに参加することが可能です。現在、LA SEÑAS (打楽器のみ約40名在籍、高山出身の小林奏人、打保雅貴も所属)、LA SEÑAS-COLECTIVO (様々な楽器約15名在籍)、LA SEÑAS-OSAKA (打楽器のみ約15名在籍)、LA SEÑAS-OZORA (7カ国合同チーム14名在籍)と、全国へと展開しています。

ラ・セーニャスの映像



LA SEÑAS-TAKAYAMAプロジェクト

本場のLA SEÑASはプロ集団ですが、今回3回目となる「飛騨高山文化芸術祭こだま〜れ2019」の市民提案プロジェクトでは、高山で打楽器(ドラム、パーカッション、和太鼓等)やバンド等の音楽活動している一般市民からメンバーを募り、LA SEÑAS-TAKAYAMA(ラ・セーニャス・タカヤマ)を結成します。そして、本番のコンサートでは、会場と一体となったコンサート(ライブ)をしようと考えています。コンサートをするにあたり、メンバーを募集します。打楽器だけのユニット、多種多様の楽器でできたユニット、または全員で演奏する形になるかは、メンバー次第。高山ではこれまで馴染みのない音楽ですから、当然不安もあるかもしれませんが、東京から来るメンバーが、市民のレベルに合わせて丁寧に指導します。高山の音楽家の皆さん、是非たくさん応募を待っています。



参加者(出演者)大募集!!!

コンサート本番

2019年10月20日(日)14:00~

場所: 飛騨・世界生活文化センター コンベンションホール

東京メンバーによるプレイベントライブと説明会

3月30日(土)18:30~ プレイベントライブ

場所: 飛騨・世界生活文化センター ミニシアター

31日(日)13:30~ 説明会(場所未定)

ワークショップ(練習及び講習)

本番に向けたワークショップを3月から10月にかけて土・日の4回行います。場所や詳細は、募集してきたメンバーに直接お知らせします。夏には参加者の中の選抜メンバーでプレイベントも開催します。詳しくはお問合せください。

募集条件

- 中学生以上
- 16分音符、3連符のリズム楽譜が読める
- 楽器: 打楽器(得意なパーカッション何でも、ドラム、和太鼓)、ギター、ベース、サックス、キーボード等
- 練習になるべく参加できる

参加料: 一人3,000円(レッスン費用等)

参加申込締め切り: 3月28日(木) 資料準備の関係があります。

※ただし、申込者が足りない場合は、追加の申込受付をします。

お問合せ・お申込先 tel.090-8156-3454

主催 ラ・セーニャス・タカヤマ実行委員会 受付時間17:00~22:00

